



Classic Integrated Amplifier



Classic Integrated Amplifierをご購入いただき、誠にありがとうございます。この製品は、数々のユニークな機能を備えた非常に高品質なプリメインアンプで、他のM2TECH製品や様々なソース機器と組み合わせで最高のパフォーマンスを発揮するよう設計されています。

Classic Integrated Amplifierは、リスニングの喜びを最大限に引き出すための特別な技術的および機能的なソリューションを実装しています。

- ・入力RCA 4系統（うち1系統はMM/MC対応フォノ兼用）、XLR 1系統
- ・バナナプラグ・Yラグ対応スピーカー出力、6.3mmヘッドフォン出力

- ・瞬間240W@40hms/chを誇るAB級パワーアンプステージ
- ・透明度の高いプリアンプステージ
- ・日本専用仕様トロイダルトランス及び低ノイズ電源ステージ

- ・外部パワーアンプの接続に対応するプリアウト端子搭載
- ・専用リモコン対応
- ・トリガー入出力対応
- ・Wi-Fiによる専用アプリ（Android/iOS）で操作可能

Classic Integrated Amplifierは、価格に比して非常に優れたパフォーマンスを提供するように設計されています。Classic Integrated Amplifierが皆様の期待を満足し、お使いのハイファイシステムが音響性能において驚異的な向上を見せることを確信しています。全く新しいリスニング体験の準備を整えてください！

Marco Manunta, CEO

将来必要になることがあるかもしれませんので、ご購入になったClassic Integrated Amplifierのシリアルナンバーとご購入情報をここにひかえておいてください。

シリアルナンバー：

ご購入年月日：

ご購入店名：

注意: 万一保証が必要になった場合には、ご購入を証明するもの（領収書など）を提示していただく必要があります。

目次

1. 開封してユニットを設置する	4
2. フロント・パネル（前面）	5
3. バック・パネル（背面）	6
4. リモコン	7
5. 接続して電源を入れる	8
5. ユニットの清掃	9
6. 「プリアウト」出力の使用	9
7. トリガー	10
8. Wi-Fi インターフェース	10
9. 使用上の注意	11
10. 仕様	12

1. 開封してユニットを設置する

Classic Integrated Amplifierの入った箱をテーブルの上に置き、内箱を傷つけないように注意しながら、カッターやナイフで外箱を開けます。上部の厚紙トレイと緩衝材を取り出してふたを開けます。以下の内容物が入っています。

- Classic Integrated Amplifier本体
- 専用リモコン（電池は付属しておりません。単4電池2個を別途お買い求めください。）
- 電源コード

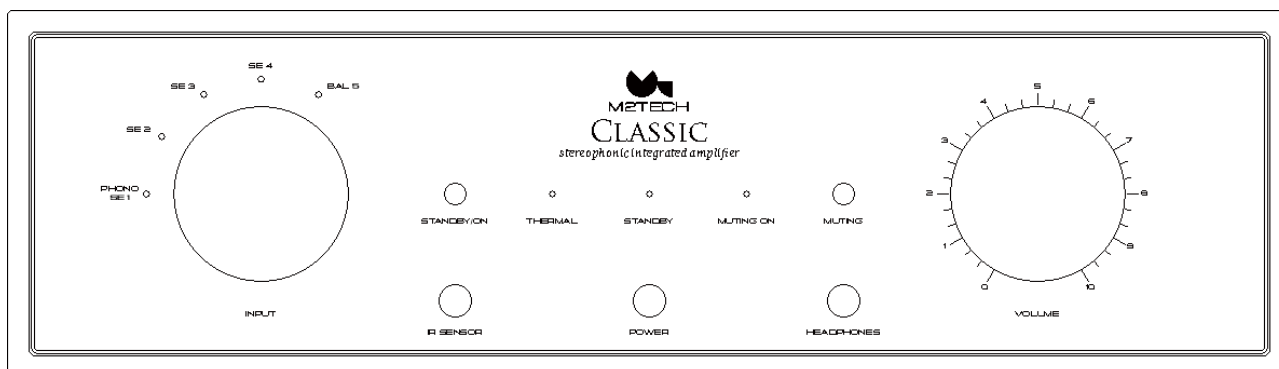
何かが入っていない場合は、販売店にご連絡ください。

Classic Integrated Amplifierを箱から取り出したら、熱の当たらないしっかりとしたテーブルに置いてください。本体に直射日光が当たらないようにしてください。

Classic Integrated Amplifierは、最大出力時に4オームで200W以上の出力が可能なアンプです。常に最大出力で動作するわけではありませんが、Classic Integrated Amplifierは多くの熱を発生する可能性があります。そのため、周囲に十分な空気の循環が必要です。

装置に煙、湿気、ほこり、水がかからないよう注意してください。乱暴に扱った痕跡がある場合、保証が無効になる可能性があります。Classic Integrated Amplifierを厚いカーペットの上や箱の中、または収納家具の中、カーテンに密接した場所に置かないでください。

2. フロント・パネル (前面)



入力選択ノブ (左)：入力を選択します。選択された入力は、LEDが橙色に点灯します。

スタンバイボタン：使用しないときにClassic Integrated Amplifierをスタンバイ（低消費電力状態）にすることができます。Classic Integrated Amplifierがスタンバイ状態の場合、再度このボタンを押すか、リモコンのON/OFFボタン、またはスマートフォンアプリのON/OFFコマンドで再び起動させることができます。Classic Integrated Amplifierが完全に電源オフの場合、このボタンは機能しません。

オーバーヒートアラームLED（「THERMAL」、赤）：Classic Integrated Amplifierのパワートランジスタの温度が100° Cを超えると、内部コントローラーがアンプをスタンバイ状態にし、このLEDが点滅します。トランジスタの温度が70° C以下に下がると、通常の動作が自動的に再開されます。

スタンバイLED：Classic Integrated Amplifierがスタンバイ状態のときに点灯します。

ミュートLED（「MUTE ON」）：Classic Integrated Amplifierがミュート状態のときに点灯します。

ミュートボタン（「MUTING」）：このボタンを押すと、ボリュームノブに触れることなくアンプをミュートにできます。例えば、電話に出るときなど、一時的に音楽を止めたいが、最適な音量の設定を変更したくない場合に便利です。このボタンをもう一度押すと、以前の音量に戻ります。

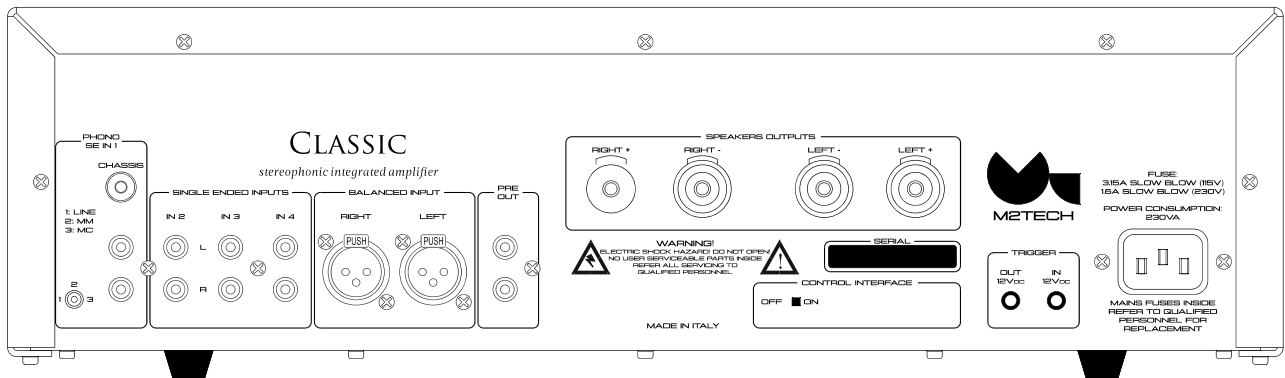
ボリュームノブ (右)：このノブを使って、音量を調整します。

リモコン受信部（「IR SENSOR」）：赤外線リモコンからのコマンド受信を妨げないよう、この窓を覆わないでください。

電源スイッチ（「POWER」）：このボタンを押すとClassic Integrated Amplifierの電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

ヘッドフォン用ジャック（「HEADPHONES」）：ステレオヘッドフォンの6.3mmプラグをこのジャックに接続すると、ヘッドフォンでのリスニングが可能です。このジャックにコネクタを挿入すると、スピーカー出力は自動的にオフになります。

3. バック・パネル（背面）



Phono/Line 1入力：ラインレベル（CDプレーヤー、ラジオなど）またはターンテーブルのカートリッジのフォノ出力を入力します。フォノを接続する場合は、出力の高いムービングマグネット（MM）カートリッジや出力の低いムービングコイル（MC）カートリッジの両方を接続することが可能です。使用モードは、入力コネクタの左側にあるスイッチで選択します。コネクタ上部にあるターミナルは、ターンテーブルのアースケーブルを接続してハムを除去するために使用します。RCAメスコネクタ。

シングルエンド入力：シングルエンド出力を備えたラインレベル機器をこれらの入力に接続します。RCAメスコネクタ。

バランス入力：バランス出力を備えたラインレベル機器をこの入力に接続します。XLRメスコネクタ。

プリアンプ出力（「PRE OUT」）：内部のパワーステージに適用されるのと同じ信号を外部パワーアンプに送ることができます。これは、内部アンプよりも強力な外部パワーアンプを使用したい場合や、内部パワーアンプとM2TECHのパワーアンプを使用してスピーカーをバイアンプする場合に便利です。

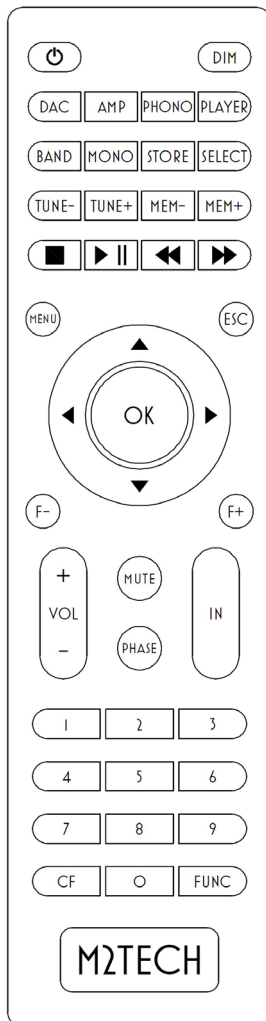
スピーカーターミナル：スピーカーと適切な太さのケーブルでターミナルに接続します。ターミナルは、裸線およびバナナプラグ、Yラグのいずれも対応しています。

コントロールインターフェース：スマートフォンアプリを使用してアンプを制御できるWi-Fiインターフェースです。アプリはM2TechsiaからiPhoneおよびAndroid向けに無料提供されています。使用しない場合は、隣にあるスライドスイッチで無効にできます。

トリガー入力および出力：トリガー入力を介して、システムの他のコンポーネントから送られるトリガーでClassic Integrated Amplifierの電源を入れることができます。同様に、トリガー出力を介して、Classic Integrated Amplifierから送られる電圧で他のコンポーネントの電源を入れることも可能です。例えば、M2TECHのパワーアンプを使用してスピーカーをバイアンプする場合、Classic Integrated Amplifierの電源を入れると、パワーアンプも自動的に電源が入ります。3.5mmジャック。

電源入力：付属の電源ケーブルをこのコネクタに接続してください。

4. リモコン



Classic Integrated Amplifierには、多機能リモコンが付属しており、アンプの全ての操作を調整できるだけでなく、他のM2TECHのClassicシリーズやRockstarsシリーズの製品も制御できます。Classic Integrated Amplifierにコマンドが送信されると、「AMP」ボタンが緑色に点滅します。しかし、「DAC」、「PHONO」、または「PLAYER」ボタンが点滅した場合、Classic Integrated Amplifierはコマンドを受信しません。この場合、「AMP」ボタンを押して、Classic Integrated Amplifier用の正しい制御コードを選択してください。

以下に、Classic Integrated Amplifierで使用するボタンの簡単な説明を示します。

スタンバイボタン: Classic Integrated Amplifierをスタンバイ状態にする（長押し）および再起動することができます。

DIM: LEDの明るさを調整します。

AMP: リモコンにフォノコードを使用してコマンドを送信するよう指示します。

IN+/IN-: 入力を選択を行います。

VOL+/VOL-: ボリュームを調整します。

MUTE: ミュートの有効化および無効化を行います。

数字キーパッド: キー 1から5までで、対応する番号の入力に直接アクセスできます。

5. 接続して電源を入れる

警告: Classic Integrated Amplifierとシステム内の他の機器間の接続は、すべての機器の電源がオフの状態で行ってください。このルールを守らないと、Classic Integrated Amplifierや他の機器に損傷を与える可能性があります。

「3. バックパネル」を参照してください。

Classic Integrated Amplifierの出力端子にスピーカーケーブルを接続します。

警告: 正の出力端子（赤）を接地（GNDや黒の端子に接続）しないでください。これにより、最終ステージが過負荷になり、アンプが損傷する可能性があります。

ターンテーブルをお持ちの場合、Classic Integrated Amplifierのフォノ入力に接続します。ターンテーブルに取り付けられているカートリッジの種類に応じて、フォノ入力の動作モードセレクトを「MM」または「MC」に設定します。ターンテーブルをお持ちでない場合は、CDプレーヤー、ストリーマー、チューナー、レコーダーなどのラインレベル機器をこの入力に接続し、動作モードを「LINE」に設定します。

注意: アンプやスピーカーに損傷を与える可能性のあるスイッチノイズを避けるために、Classic Integrated Amplifierの電源を切った状態でフォノ入力の動作モードセレクトを操作してください。

他の機器は、シングルエンド入力か、バランス出力を持つソースがある場合はバランス入力に接続してください。

Classic Integrated Amplifierを他のデバイスやマルチルームコントローラーでトリガー操作したい場合、モノケーブル（3.5mmジャックコネクタ付き）をClassic Integrated Amplifierのトリガー入力と他の機器のトリガー出力の間に接続してください。同様に、他の機器にトリガー信号を送る必要がある場合、Classic Integrated Amplifierのトリガー出力と他の機器のトリガー入力の間にモノケーブルを接続します。

注: トリガー入力はメインの電源スイッチと並行して動作するため、トリガーでClassic Integrated Amplifierの電源をオンオフしたい場合は、メインの電源スイッチを操作しないでください。メインの電源スイッチが押されると、トリガーはアンプのスタンバイ状態に影響を与えます。

付属の電源ケーブルをClassic Integrated Amplifierの電源ソケットおよび電源コンセントに接続してください。

フロントパネルの電源スイッチを操作するか、トリガー信号を受けてClassic Integrated Amplifierの電源を入れてください。

5. ユニットの清掃

Classic Integrated Amplifierを清掃する際は、やわらかくてわずかに湿った布を使用してください。アルコールその他のクリーニング液は、ユニットを損傷する可能性があるため、使用しないでください。

ユニットの内部に液体をこぼしたりしないでください。どのようなタイプの液体も、ユニットの内部に入った場合は、保証の対象外となります。

表示パネルに傷を付けないように注意してください。

6. 「プリアウト」出力の使用

Classic Integrated Amplifierは、8オームスピーカーに対して各チャンネルあたり60Wの最小連続出力、4オームスピーカーに対して各チャンネルあたり100Wを提供します。また、ダイナミック性能（短期的な電力出力）は、8オームで最大150W、4オームで最大240Wを供給することが可能です。これは、平均サイズの部屋で中高域スピーカーを用いた現実的なリスニングに十分なパワーです。しかし、低効率のスピーカーを使用した設置や、カーテンや絨毯などが敷かれた広い部屋では、より高い出力が必要になる場合があります。

この目的のために、Classic Integrated Amplifierは、内蔵プリアンプ信号を外部のより強力なパワーアンプに出力する「プリアウト」出力を備えています。このオプションを使用する場合、スピーカーは外部パワーアンプに接続されます。Classic Integrated Amplifier内蔵のパワーアンプはアクティブな状態を保ちますが、スピーカーが接続されていないため、電力を消費せず発熱もしません。

「プリアウト」出力のもう一つの使用法は、スピーカーに高域用と低域用の独立した入力端子がある場合に、パッシブバイアンプを行うことです。この構成では、Classic Integrated Amplifierの「プリアウト」出力から第二のパワーアンプを駆動し、各スピーカーの各端子ペアを各パワーアンプの同じチャンネルの出力に接続します。一般的に、外部パワーアンプがClassic Integrated Amplifier内蔵のアンプよりも強力であれば、スピーカーの低域端子を外部アンプに接続し、高域端子をClassic Integrated Amplifier内蔵のアンプに接続します。逆に、外部アンプが内蔵アンプよりも出力が低い場合はその逆です。

7. トリガー

Classic Integrated Amplifierは、12V DCのトリガー信号を受け入れます。トリガー信号を使用して、他の機器（ソースやマルチルームコントローラー、ホームオートメーションコントローラー）からClassic Integrated Amplifierを自動的に起動させることができます。これにより、トリガー信号を生成する機器の電源のオン・オフ操作で、システム全体をオン・オフできます。

トリガー信号は、メイン電源スイッチと並列に配置されたりレーを作動させます。そのため、Classic Integrated Amplifierの入力にトリガー信号がある場合、メイン電源スイッチのオン・オフにかかわらず、アンプはオンの状態になります。

メイン電源スイッチがオンの状態でトリガー信号が適用され、その後トリガー信号が削除された場合の唯一の違いは、トリガー信号が消えるとClassic Integrated Amplifierはスタンバイ状態に入ることです。この動作は、対応するスイッチが押されたかのように動作します。そして、トリガー信号が再び適用されると、アンプはスタンバイから復帰します。

Classic Integrated Amplifierには、12V DCのトリガー電圧を出力するトリガー出力も備えています。この出力を使用して、他の機器（例：クラシック・パワーアンプや他の外部パワーアンプ）のトリガー入力を駆動し、Classic Integrated Amplifierの電源が入ると、これらの機器も自動的にオンになります。この電圧は、Classic Integrated Amplifierがオンになるかスタンバイ状態を解除されたときにオンになり、アンプがオフになるかスタンバイ状態に入るとオフになります。

8. Wi-Fiインターフェース

Classic Integrated AmplifierにはWi-Fiインターフェースが搭載されており、これを介して自宅のWi-Fiネットワークに接続し、iOSおよびAndroidプラットフォーム向けのスマートフォンアプリでClassic Integrated Amplifierを操作することができます。ローカルのWi-Fiネットワークがない場合、Classic Integrated Amplifierのインターフェースはアクセスポイントとして機能し、独自のネットワークを生成します。このネットワークにユーザーのスマートフォンを接続することが可能です。このオプションは、Classic Integrated Amplifierを初めて起動したときにアクティブになり、電源を入れる際に「MUTING」ボタンを押し続けることでいつでも再度呼び出すことができます。

スマートフォンが接続されると、Wi-Fiネットワークが存在する場合、そのネットワークへの接続データを入力して、Classic Integrated Amplifierにインターフェースをリセットし、ネットワークに接続するよう指示できます。電源を入れる際に「STANDBY」ボタンを押すと、他のネットワークに接続する必要がある場合にインターフェースがリセットされます。

インターフェースが使用されていない場合は、背面パネルにあるスイッチを使って無効にすることができます。

9. 使用上の注意

以下の指示をよく守り、機器を保護し、使用者の安全を確保してください。

- ・スピーカーの赤い端子同士や黒い端子と赤い端子をショートさせないでください。このようにすると、最終ステージを保護するヒューズが切れたり、最終トランジスタが損傷する可能性があります。

- ・スピーカーが接続されていない場合やヘッドフォンを使用している場合、または3.5mmから6.35mmへのヘッドフォンジャックアダプターがヘッドフォンジャックに挿入されているときに、ボリュームノブを最大にしないでください。この状態を長時間維持すると、最終ステージが損傷する可能性があります。

- ・Classic Integrated Amplifierを、Classic Integrated Amplifierのパッケージラベルに表示されている電圧と異なる電圧のコンセントに接続しないでください。電源保護用ヒューズが切れるか、Classic Integrated Amplifierが損傷する恐れがあります。

- ・Classic Integrated Amplifierのキャビネットの通気口をふさがないでください。最終ステージが過熱する可能性があります。Classic Integrated Amplifierは過熱に対して保護されていますが、サーマルプロテクションが継続的に作動すると、正常な動作が妨げられます。

- ・通気口に金属製の物を挿入しないでください。

- ・Classic Integrated Amplifier内部に液体をこぼさないよう注意してください。

- ・非常に寒く湿った環境から温かい場所（例えば、車のトランクからリビングルーム）にClassic Integrated Amplifierを移動させた場合、Classic Integrated Amplifierが室温に達するまで電源を入れないでください。

- ・Classic Integrated Amplifierの内部ヒューズが切れた疑いがある場合、自分で作業せず、販売店に連絡してヒューズの交換と機器の点検を依頼してください。多くの場合、ヒューズが切れる原因は、機器回路の損傷に起因していることがあります。

10. 仕様

入力：RCAライン4系統（うちフォノ入力1系統兼用）、XLRバランスライン1系統

出力：スピーカー（バナナプラグ・Yラグ対応）、6.3mmヘッドフォン

入力感度：

500mVrms（ライン）

5mVrms（MM入力46dB）

0.5mVrms（MC入力66dB）

入力インピーダンス：

47kOhm（ライン・フォノ入力）

20kOhms（バランス入力）

S/N比：

105dBA（60W@8Ohms, ライン入力）

85dBA（60W@8Ohms, MM入力）

75dBA（60W@8Ohms, MC入力）

THD+N：0.02%（60W@8Ohms, 1kHz）

定格連続出力：

60Wrms（stereo, 8 Ohm）

100Wrms（stereo, 4 Ohm）

瞬間最大出力（10ms）：

155Wrms（stereo, 8 Ohm）

240Wrms（stereo, 4 Ohm）

入力電圧：100VAC 50/60Hz

消費電力：225W（最大）、0.1W（スタンバイ）

サイズ：420x313x120mm (WxDxH)

重量：15kg

標準的な小売価格：594,000円（税込）

JANコード：4589631460996

発売日：2024年11月1日

※仕様は予告なく変更となる場合がございます